

第二十一回帝國議會 鑛業法案委員會會議錄(速記)第三回

會議

明治三十七年十二月二十日午前十時五十五分開議

出席委員左ノ如シ

藤 金作君 持田 若佐君 遊田 研吉君
波多野傳三郎君 是永 歲太郎君 青柳 信五郎君
神前 修三君 伊藤彌右衛門君 金子 元三郎君
荒谷 桂吉君 横山 一平君 松本孫右衛門君
堀田 連太郎君 阪本 金彌君
出席政府委員左ノ如シ
農商務省鑛山局長 田中 隆三君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

鑛業法案

○委員長堀田連太郎君 昨日ニ引續キマシテ、委員會ヲ開キマス

○政府委員田中隆三君 先刻御手許ニ廻ハシマシタル統計書ノコトニ付イテ、一應御說明ヲ致シマス、念ノタメニ御斷ハリシ置キマスガ、統計ヲ急ギマシタノデ、統計ノ一部分ハ「鑛業行政ニ關スル意見」ト題シテアリマス刷物デ、御目ニ掛ケマシタノデアリマス、其刷物ハ實ハ私一己ノ意見ヲ書キマシタノデ、其意見ニ屬スルコトハ、政府委員トシテ御聽キニ達シタモノト、御認メニナラナイヤウニ願ヒマス、全ク是ハ私ノ書類デ、詰リ諸君ト私一己トノ間ニ、單ニ御交際上ノ意味カラ差上ゲタモノデアリマス、實ハ其書類ハ私ハ農商務大臣ニ向テ、局ノ經費ノ不足ヲ、訴ヘタ陳情書ニ過ギナイ、併シ其中ニ書イテアル統計事項ハ、固ヨリ事實デアリマシテ、如何ニ公ニサレタモ、如何ニ御批評ニナラレタモ、御自由デアリマスケレドモ、意見ニ屬スル分ハ、全ク御銘々ノ考ゲニ御秘メ置キテ願ヒタイ、其統計書ニ付イテ、順次一應申上ゲマスガ、刷物ノ方ノ第一ニ、試掘地數及坪數累年比較ト云フモノガアリマス、一番上ノ欄ハ許可地ノ數、ソレカラ其次ハ總坪數デアリマス、ソレカラ其次ハ許可地ノ數ヲ以テ、總坪數ヲ割出シテ得タ、一ノ許可地ノ平均坪數ヲ見タノデス、ソレカラ一番御シマイノ欄ニアリマスノハ、試掘地ヲ採掘特許ニ願ヒ替ヘタ數デアリマス、ソレカラソレガ兩方ニ分レマスガ、其同シ表ノ内譯ヲ菊蒔版ニシテ、モウ一ツ出來テアリマス、菊蒔版ノ一番最初ニアリマスノデス、ソレヲ假ニ三十二年カラ五箇年間デス、刷物ノ方ニゴザイマス表ノ内譯ヲ作ッテ來タノデス、各監督署別ニ……其五監督署ノ別々ノモノヲ合セマスルト、刷物ノ總計ニ當リノデアリマス、此表ニ就イテ御參考マデニ申上ゲタイコトガアリマスガ、先達以來反對意見トシテ、私共ニ配付セラレテ居ル刷物ガゴザイマスル、其反對ノ理由トシテ明治二十六年頃カラ、三十五年マデ許可ニナッタコロノ試掘數ハ、ドレダケアル、ソレカラ其内採掘ニ願ヒ替ヘタモノハ、ドレダケアルト云フ統計ヲ取リマシテ、サウシテ所謂試掘許可ノ中デ、採掘ニ替ハルベキ數ハ甚ダ少ナイモノデ、非常ニ少ナイモノデアル、試掘ハ多クハ認メナイモノデ

アルト云フコトヲ、統計ニ基イテセラレテ居ルヲ見マシタ、ソレハチヨット聞キマス、尤ラシク聞エマスケレドモ、全ク事實ヲ誤ラセモノニナルノデ、其御說明ヲチヨット申上ゲタイト申シマスルノハ、鑛區ノ數ヲ——試掘地ノ數ヲ二十五カラナリ、二十六年カラナリ、三十二年マデノ間ニ計算シテ、其現ハレタ數ヲ以テ試掘地ガアルト云フノハ、合ハナイコトニナルノデ、試掘地ノ大部分ハ同ジ場所デアル、二十五年ニハ試掘地幾ラ、三十二年ニハ試掘地幾ラトアリマスケレドモ、二十五年ニアッタモノモ、三十五年ニアッタモノモ、大部分ハ同ジモノデアルノデス、ソレダカラ日本ノ試掘地ハ何万何千アルト論ジテモ、ソレハ合ハナイ統計ニナルノデス、同ジモノガ繰リテ居ルノデス、一年或ハ二年ノ間ニハ、引續返ッテ數字ニ表ハレテ居ルノダカラ、十數年ノ間ノモノヲスッカリ合セテ、試掘地ガ幾何、採掘ニナッタモノガ幾何ト云フコトハ、事實ニ合ハナイ論ダト云フコトハ、今一ツハ統計ニ載ッテ居リマスル、試掘地ヲ採掘地ニ願ヒ替ヘタ數、——此數デス、是ハ農商務省ノ一種ノ手續ハ、試掘地ヲ採掘地ニ願ヒ替ヘタ數、——即チ願書ニ依ッテ願ヒ替ヘタ數デス、實際試掘地ヲ採掘地ニ替ヘルニ付イテハ、サウ云フ手段ニノミ據ラナイ、或ハ試掘地ヲ廢業シテ手續方面倒ダカラ、試掘地ヲ採掘地ニ願ヒ替ヘタ、ソレカラ採掘地ヲ、他人ノ名前ニ切替ヘルト云フノハ、面倒ダカラ、茲ニ試掘地ヲ廢業ニシテ、區切りヲ立テ、新規ニ採掘地ニ願ハセル、サウ云フヤウナ手段モゴザイマスシ、ソレカラ又同ジ人デモ試掘地ノ年限ガ切レタカラ、採掘地ニ願フ者モアル、サウ云フノハ、統計ニアルトコロノ、試掘地ヲ採掘地ニ願ヒ替ヘタト云フ數ニ這入ッテ居リマセヌ、唯今申上ゲマシタコトヲ繰返シテ、要點ヲ申上ゲマスレバ、實際ノ事實カラ申シマス、各年ニ茲ニ掲ゲテゴザイマスニココロノ試掘地ノ數ハ、實地ノ試掘地トハ合ハナイト云フコト、今一ツハ試掘地ヲ採掘地ニ願ヒ替ヘタノハ、實際遙ニ上ノ數字ガ減ッテ、下ノ數字ガ殖ヘテ來ルト云フコト、ソレダケヲ御注意ヲ願ヒ置キマス、ソレカラ印刷物ノ第二ニ、今度ハ採掘特許ニナッテ居リマスモノ、數字ヲ載セテ居リマス、其載セ方ハ唯今申シマシタ試掘地數ニ對スル表ト同ジデス、一番上ノ鑛區數、其次ハ坪數、其次ハ一鑛區ノ平均、第一ノ表ト御對照下サレバ解リマスガ、假リ三十二年ノ統計ニ付イテ申シマスルト、試掘地ノ坪數ガ、二十二億八千万坪ダケデゴザイマス、採掘地ノ方ハ僅カ八億万坪シカゴザイマセヌ、一ツノ平均ヲ取ッテ見マシテモ、試掘地ノ方ハ、一ツノ許可地以テ三十八万坪占メテ居リマス、採掘地ノ方ハ僅カ二一區域ノ平均ガ、十四万坪ニ過ギナイ、二號表ノ内譯ハ、菊蒔版ノ第二枚目ノ方ニ、内譯ヲ五箇年間ノ平均ヲ取ッテ居リマス、試掘地ト同様ニシテ、總計ハゴザイマセヌガ、總計ハ一號表ト同ジヤウニ、刷物ノ方ニ表ハレテ居リマス、數ニテ御承知ヲ願ヒタウゴザイマス、ソレカラ刷物ノ第三號表ハ砂鑛採取箇所ノ數デゴザイマス、是ハ昨日ノ御註文ニハナカッタガ、ヤハリ御參考ノ一ト存ジマスカラ、一應御目ヲ通シテ戴キタウゴザイマス、尤モ砂鑛ノ方ハ、一部分ハ其坪數ニナッテ居リマスシ、一部分ハ川ノ長サデ距離ニナッテ居リマスノデ、統計ハ非常ニ面倒デゴザイマスカラ、刷物ニハ統計ヲ取ッテ居リマセヌ、確實ノモノハ役所ニ調ベタモノガゴザイマセヌノデ、大凡ハゴザイマスガ、確實ノモノハゴザイマセヌカラ、菊蒔

版ニモゴザイマセヌノデス、其次ハ刷物ノ第四號表、是ハ二十六年以後、年々全國ノ鑛產額ガ、殖ヘテ參リマシタトコロノ模様ヲ示シタモノデゴザイマス、是ハ即チ二十六年ニ、千六百萬圓ゴザイマシタノガ、三十五年ニ至リマシテ、五千九百萬圓ト云フ總額ニナリマシタ、其表ノ尙附屬トシテ、蒔蒔版ノ第三號目ニ、明治三十六年、即チ昨年ノ全國ノ鑛產額ヲ、各種ノ鑛產物ニ割宛テ、統計ヲ出シテ置キマシタ、サウシテ其總計ハ五千七百萬圓ニナッテ居リマスガ、此中備考ニゴザイマス通、是ハ製鐵所デ拵ヘマシタ鑛產物ハ、算盤ノ中ニ這入ッテ居リマセヌ、之ヲ加ヘマスト其高ハ三十五年ヨリ殖ヘル譯ニナリマス、ツレカラ其ノ次ノ表ノ刷物ノ方ニゴザイマスノハ、鑛山ノ輸出額——外國ニ出シマシタ金高、是ハ石炭ト銅デゴザイマス、其他硫黃トカ滿庵トカ、或ハアンチモニ「トカ、日本特種ノ產物モゴザイマスケレドモ、其金高ニ致シマスト極メテ些細ナルモノデゴザイマス、此數字ニ現ハレテ居リマス高ノ大部分ハ、今申シマシタ銅、石炭ト御承知ニナレバ、格別ノ違ヒハゴザイマセヌ、ツレニ依ッテ見ルト、二十六年ニハ六百萬圓カ、七百萬圓内外デゴザイマシタ、輸出額ガ、三十六年ニ至ッテ二千八百萬圓ニ上ッテ居リマス、其表ノ附屬トシテ唯今申シタモノカラ二枚目程ニ、輸出品價格調ト云フガアリマス、是ハ表ニ段ヲ分ケテアリマス通、日本ノ他ノ輸出品ト對照シテ、鑛產物ノ有様ハ如何ナルモノデアラウカト云フコトヲ、參考ノタメニ見マシタノデアリマス、上ノ段ハ鑛產物ノ價格、次ノ段ニ穀物及飲食物——米ヤ何カハ此中ニ入ッテ居リマス、次ノ段ハ布帛及綿類——絹物何カハ此中ニアリマス、要スルニ生絲類ニ續イテ、日本ノ輸出品ノ重要ナル位置ヲ占メテ居ル物ハ、鑛物デアルト云フコトハ、此表デ分リマス、刷物ノ方ニ戻ッテ、次ノ表ハ鑛業歲入ノ累年ノ比較、一番上ノハ鑛業稅、是ハ鑛區稅、三段目ハ雙方ヲ合シタ總計、次ノ段ニハ試掘鑛物販賣免許料、是ハ試掘ニ依ッテ得タル鑛物ハ、許可ヲ得タ上デナケレバ賣ラレナイ、サウシテ賣ッタ時ニ、ヤハリ百分ノ一ノ稅ノヤウナモノヲ納メルコトニナッテ居リマスノデ、ツレニ依ッテ得タル收入デアリマス、是ニ付イテ少シ説明シテ置キタウゴザイマスガ、是ハ試掘權ノ濫用ト云フコトヲ防グ意味ヲ以テ、試掘ヲ全ク廢業スル時カ、或ハ試掘地ヲ探掘鑛區ニ願ヒ替ヘルトキデナケレバ、認可ヲ與ヘナイコトニシテ居リマス、ツレ故ニ茲ニ現ハレテ居リマスノハ、大部分——殆ド九分九厘ハ試掘地ヲ探掘鑛區ニ願ヒ替ヘルタメニ、認可ヲ得テ販賣シタコトカラ生ジタ收入デアリマス、次ニ登錄稅手續料、是モヤハリ鑛業ニ關スル收入デアリマスガ、是ハツレ／＼登錄稅法ト又勅令ニ依ッテ定メテ居リマス、手續料ノ規則ニ依ッテ、政府ニ入リマシタ收入、其次ハ合計、是ハズット前段カラ纏メテ、總テノ收入ヲ合セタモノデアリマス、次ノ表ニ載ッテ居リマスノハ、願書類ノ件數ヲ取調ベタモノデアリマス、一番上ノ數字ハ、前年度カラ繰越シテ參リマシタモノ、次ノ段ニ掲ゲテアリマスノハ、新タニ其年ニ於テ受理シタルモノ、次ノ段ハ其年ニ於テ處分濟ニナッタモノ、次ノ段ハ處分未濟トナッテ殘ッタルモノ、其次ニ第二段トシテ、上ノ受理シタ書類ノ中ノ試掘ニ關スル書類、探掘ニ關スル書類、及砂鑛ニ關スル書類ヲ分チマシタ、其表ニ依ッテ見マスト、試掘ニ關スル書類ト、探掘ニ關スル書類ト、非常ニ數字ニ違ヒガゴザイマス、要スルニ試掘ノ書類ハ、願書バカリデモ探掘ノ十倍ニ當ッテ居ル、主タル願書ガ既ニ十倍デアリマスカ、ツレニ伴フ手續書類モ十倍以上ニ當ルモノト、御承知ニナッテ差支ナイ、昨日試掘ニ付イテ要スルトコロノ、手數ト

ノ比較ガ、欲シイト云フ御註文モアッタヤウデゴザイマスガ、詰リ此表ニ依ッテ事務ノ大體ハ御推察ニナルコトガ出來ヤウト思ヒマス、次ノ刷物ノ方ハ歲出豫算二十五以後各年度ノ歲出ノ豫算ヲ主ト致シマシテ、其次ニハ監督署員ノ人數、次ニハ取扱ッタルコロノ願書ノ數、其次ニハ既ニ前段ニ申上ゲタルコロノ鑛業ニ關スル歲入總計、次ニ經費ト歲入ノ比例、或ハ件數ト歲出ノ割合ヲ取ッテ見マシタ、昨日モチヨット申シマシタヤウニ、歲出豫算ハ三十二年マデハ、先ダ漸次ニ減ッタヤウナニナッテ居ル、サウシテ願書ノ數ハ元ヨリ殖エテ居リマス、歲入ハ段々殖エテ居リマス、ツレデアリマスカラ、下ノ方ノ段ニ至ッテ取ッタル比例ハ、丁度ヨク鑛業行政ノ經費ノ割合ヲ、規則正シク増減ヲ示シテ居リマス、即チ明治二十五年監督署ノ創設ノ際ニハ、收入ノ六割九分ヲ使ッテ居ッタ、ツレガ三割九分、一割八分、一割六分ト段々下ッテ、三十二年度ニハ七分トナッタ、ツレハ三十二年カラ稍々恢復シテ、幾分ノ經費ノ増加ヲ得テ、一割、一割五分ト云フコトニナッタガ、又五十六年ニナルト、行政整理トカ、其他ノ事情デ經費ガ減ル、定員ガ減ルト云フコトニナッテ、割合ガ減ッテ參リマシタヤウナ有様ニナッテ居リマス、ツレカラ其次ニハ表デゴザイマセヌケレドモ、稍々表ニ似タヤウナモノデ、監督署員ガ事務ヲ如何ニ分配シテ居ルカ、今日ノ人數デ、トウ云フ工合ニナッテ居ルカト云フコトヲ示シタノデアリマス、監督署ノ人員ハ總計百五十人——實員ハ一二名不足モアリマスガ、定員ハ百五十人ニナッテ居リマス、其百五十人ノ人數ヲ三分シテ、五十人ト云フモノデケハ、所謂事務ノ方ニ當リマス、下ニ書イテゴザイマス通、庶務、會計、其他法律事務、願書ノ拒否事務等ヲ執ッテ居ルノデ、殘リノ百人ハ技術ニ關スルコトヲ執リマス、之ヲ二三二分ケテ、三十四人カラ二人迄ハ鑛業警察、一般ノ取締ニ任ズル、取締ノ中ニモ或ハ坑内ニ紛擾ガアレバ、實地ニ赴イテ坑ノ測量ヲスルモノモアル、又ハ地表ニ危險ガアルト云フヤウナ場合ニハ、ツレ／＼調ベヨスルト云フコトモ、這入ッテ居リマス、ツレカラ後トノ六十六人ハ、願書ノ調査ニ從事スル、夫ハ半分ガ出テ、ツレガ歸ッテカラ調ベヨスルト、後トノ半分ガ又出テ往クト云フノデアリマスカラ、一年中出テ居ルモノハ三十三人シカナイト云フ譯デアリマス、其三十三人ガ、ドウ云フ風ニ仕事ガ出來ルカト云フト、意見書ノ文句ノ内ニ現ハレテ居ル如ク、多數ノ出願書類ヲ整理スル餘地ガナイ有様ニナッテ居リマス、夫故昨日モ御尋ネガアリマシタガ、法文ヲ勵行シナイ、勢ヒ形式的ニ看過シテ居ル、延期願ガ出レバ一々見テ、速ニ拒否ヲ決スルガ當前デアルケレドモ、サウ云フコトハ出來ナイト云フコトガ往々ニシテアル、此事情ニ依ッテ大抵御分リニナラウト思ヒマス、ツレダ尙序ニ御參考迄ニ刷物ノ中デゴザイマスガ、御シマイニ第二款將來ニ於ケル施設事項ト云フノガアリマスガ、其中ノ第三ハ、丁度昨日御尋ネノゴザイマシタヤウニ、其處迄モ當局者ニ於テハ、此鑛業ノ發達ヲ希フト云フ考カラ、監督署ノ事務ノ重ナル事項トシテ、銅ナリ、石炭ナリ、石油ナリト云フヤウナモノ、鑛量ノ調査ヲスルコトハ、一日モ早ク其目的ヲ達シナケレバナラヌト、覺悟シテ居ルノデアリマスガ、唯段々前ノ數字ニ依ッテ御承知ノ通、手ノ届カヌコトガアルノデ、延ビテ居ルト云フヤウナ次第デアリマス、其他イロ／＼私一己ノ意見ガ掲ゲテ居リマスカラ、御暇ノ節ハ御目ヲ通シテ戴キタイ、ツレカラ今度ハ蒔蒔版ノ方デ申上ゲ殘シタノガアリマスガ、先程申シタ鑛產高ノ調ベノ次ニ、鑛山變災死傷人員累年比較ガアリマスガ、此表ニ依ルト三十二年、三十四年ハ、特ニ人數ガ殖ヘテ居ル、

是ハ或ル大キナ鑛山ニ特種ノ變災ガアツタ、別子ノ鑛山ニ大災害ガアリ、九州ノ豐國炭山ニ爆發ガアツタト云フノデ、特ニ殖ヘテ居ルノデアリマス、其他尙年々災害ノ數カ非常ニ殖ヘテ來テ居ル、特ニ近年之ガ殖ヘテ來テ居ル、二十六年ノ如キハ、著シク殖ヘテ居リマス、是ハ其年ニナツテ、特ニ災害ガ殖ヘタト云フノデハアリマセヌ、詰リ是迄届ノ等閑ニナツテ居ッタノガアル、夫ヲ近頃ニナツテ監督署カラヤカマシウ申スヨリ、是ガ殘リナク居ケルコトニナツタ結果デアリマス、併シ仕事が段々困難ニナツテ來ル、坑ハ深クナリ、從ツテ危害ノ度ト云フモノハ、割合ニ多クナル傾ハアリマスガ、此表ニ現ハレテ居ル如ク、實際ガ急ニ殖ヘタト云フコトデハナインノデアリマス、ツレカラ鑛業稅鑛區稅ノ滯納ニ依ツテ、滯納處分ヲ受ケタモノ、數、是ハ全ク無資力ニシテ、許可ヲ取消シタモノ、數デ、稅務署カラ滯納處分ニナツテ、差押等ニ依リ納稅シタモノハ、此中ニ這入ツテ居ラヌノデアリマス、今一ツ申シテ置キマスハ、此取上ゲマシタ年度ハ、實際ニ取消シタ年度デアルカラ、例ヘバ三十五年ニ起ツタモノヲ、三十六年ニナリ取消處分ニナツタト云フモノデ、詰リ差押處分ヲシタリ、調ベタリ、イロ／＼ノ手續ノタメニ後レマスカラ、實際三十六年ニ取消處分ヲ受ケタモノハ、三十五年ノ納稅デ、是ハ詰リ三十四年分ノ稅ニナルノデアリマス、詰リ三十四年分ノ稅ノ一年置キ前ノ稅ヲ忘レテ、取消シニナツタト云フ數字ニナリマス、ツレカラ其次ノ表ハ、先程申上ゲマシタ輸出品ノ調、其次ノ表ハ輸入ノ調デアリマス、輸入モ種類ヲ舉ゲテゴザイマスガ、鑛產物ノ輸入ト云フモノハ、ナカ／＼澤山デ、輸出ヨリモ數字ガ殖ヘテ居ルト云フ譯デス、此輸入ノ大部分ハ、御承知ノ通、鐵類石油ガ主タルモノヲ占メテ居リマス、唯近年石炭——海軍デ使ヒマスルトコロノ石炭ガ、非常ニ這入ツテ來ルノデ、殊ニ昨年以來軍國ノタメニ、尙一層石炭等ノ高ガ殖ヘタヤウデアリマスガ、大部分ハ石油ト鐵デアリマス……

○藤金作君 此ノ唯今御説明ノ鐵ト石油、石炭トノ產出高ハ……

○政府委員田中隆三君 ソレハ唯今有テ居リマセヌカラ、後程迄ニ申上ゲマス、其次ノ表ハ今度ノ法案ノ改正ニ伴ヒマスル税ノ割合デゴザイマス、是ハ大藏省デ、豫算委

員ニ御示ニナタトコロノモノヲ、其儘私ノ方デ拜借シテ、玆ニ掲ゲマシタ、ソレハ既ニ議事ヲ經テ居ルノデ、御承知デモゴサイマセウガ、詰リ一番最初ノ鑛區稅、是ハ從來三十錢デアリマシタモノガ、今度ハ四十錢ニナリマシタカラ、千坪ニ付キ十錢ヅ、殖ヘマス、其

十錢ガ丁度鑛業法ニ依リマシテ、十二月ニナリマスルト、例ヘバ三十八年ノ十二月ニナリマスト、翌年分ノ税ヲ納メル、即チ三十九年度分ノ税ヲ一年分鑛山主ハ前納スル、

鑛區稅ハ一年分當リ前ニ取レルノト、又鑛業法ヲ實施シマスルト、實施ノ月カラ月割
デ取ルカラ、丁度來年ノ七月カラ實施スルコトニナッデ居マスカラ、來年ノ三月迄會計

年度ノ三十八年度ノ政府ノ收入ハ、九箇月分取レマスカラ、九箇月分茲ニ積^{ツタ}メテ、豫算ハ一年九箇月分千坪十錢割増ノ稅ガ現ハレテ居ル譯デアリマス、ソレカラ試掘地

ノ表、是モヤハリ同ジ率デアリマス、併ナガラ今度ノ課税ノ結果、試掘地ノ税ハ減ルモノト見積リマシテ——凡ソ現在ノ坪數ノ三分ノ一ハ減ルモノト、サウ云フ見込ヲ立テ、

其見込ニ依テ、後ノ税ハ計上シテアルノデアリマス、ソレカラ第三番目ノ砂金採取地ニ對スル税、是ハ非常特別税法ニ依ツテ、此計算方モヤハリ坪數ニ付イテハ千坪三十錢ソレカラ川數ニ付イテハ一町三十錢ノ課税ノ結果、三分ノ一ハ減少ト見込シテ、ソレニ

レルコトハ、甚だ困難ヲ致シマス、金銀銅ダケデ、御勘辨ヲ願ヒタウゴザイマス
○荒谷桂吉君 金銀ダケハ、何デゴザイマスカ、天然自然ニ産シタ、新ラシイ小サナモノハ分リマスカ

○政府委員田中隆三君 「タンクステン」ハ今度新タニ此法案ニ入レヤウト云フノデゴザイマスノデ、産額等ノ調ベハ出来兼ネマス

○荒谷桂吉君 産高デゴザイマスセヌ、鑛區數デゴザイマス

○政府委員田中隆三君 一ツ成ベク御満足ニナルカ何ダカ分リマセヌガ、調ベタモノヲ差上ゲマセウ

○藤金作君 チョット御尋ネ致シマスガ、此鑛業稅ハ價格ノ百分ノ一デゴザイマスカ、二デゴザイマスカ

○政府委員田中隆三君 鑛業稅ハ、價格ノ百分ノ一デゴザイマス

○金子元三郎君 私ハ議院公報ノ配付漏レノタメニ、昨日ノ委員會ノアルコトヲ承知セズニ居リマシテ、正午頃ニ開キマシタカラ、議院ニ電話ヲ以テ尋ネタコロガ、午後二時ノ開會ダト云フコトデ、午後一時ニ參リマシタコロガ、最早會ガ終リマシタカラ、昨日ノ會ノ模様ハ承知致シマセヌ、ソレデ此今日ノ會ノ開カレル前ニ、一應昨日ノ模様ヲ承知シタイト思ウテ、昨日ノ午後、委員會ニ速記録ノ早ク造ラレルヤウニ頼ンデ置キマシタケレドモ、マダ本員ノ手ニ參リマセヌカラ、其模様ハ承知致シマセヌ、ソレニ就イテ一言大駭ノ事ニ涉リマシテ、政府委員ニ御尋ネヲ致シマスガ、此舊條例一即チ現今ノ條例ト唯今提出ニナッテ居リマス此法案ト比ベテ見マスト、頗ル舊ノ條例ニ較ベマシテハ、峻酷ノ條項ガ多イノミナラズ、事業ニ向ッテ干涉ノヤウニ見エテ居リマス、今政府委員ノ御説明ニ依リマスト、此鑛業ハ段々進歩シツ、アッテ舊來ヨリ一層進歩シテ居ルト云フコトハ、御話ノ中ニモゴザイマシタ、此鑛業行政ニ關スル意見ト云フモノニモ見エテ居リマス、其進歩シタ鑛業ニ向ッテ、更ニ御改正ニナル法案ガ、頗ル峻酷デアリ、干涉デアルト云フコトハ、ドウ云フ御見込デアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイ

○政府委員田中隆三君 御答致シマスガ、唯今ノ御尋ネハ今度ノ法案ハ舊條例ニ比較シテ峻酷ニシテ干涉ダト云フコトデゴザイマスガ、各々御見込ニ依ルコト、思ヒマスケレドモ、私ノ方ニハ却ッテ舊條例ニアルトコロノ干涉ヲ避ケテ、モット樂ニシテ、且ツ鑛業ヲ實際ノ事業ヲ執ル上ニ於テ、頗ル寛大ナ便宜ヲ改良發達進歩ヲ促ス上ニ於テ、最モ適當ナリト認メテ居ルノデゴザイマス、何カ此箇條ガ峻酷デアル、此箇條ガ干涉デアルト云フコトデゴザイマスレバ、其事項ニ付イテ御答致シマス、全ク唯今ノ御質問トハ、正反對ニ存ジテ居リマス

○金子元三郎君 唯今ノ御説明デ、御趣意ハ分リマシタガ、成程サウ云フ御考ヘデナケレバ、此法案、御提出ガナイ譯デアラウト存ジマスガ、必ズサウ云フ御説明ヲ承ハルデアラウト豫期シテ居リマシタ、ソレデ尙ソレ等ノ箇條ニ付イテ、御説明ヲ煩シタイコトモゴザイマスガ、豫テ承リマスレバ、稍一二、昨日ノ委員會ニ於テ、委員中カラ御質問ガ出タカノヤウニモ承知シテ居リマス、ソレハ重複スルヤウナ嫌ヒガアリマシテハナリマセヌカ、イザレ速記録ヲ見マシタ上デ、尙自分ノ意ニ解シナイコトハ、御質問スルコトニ致シマス

○藤金作君 此鑛產額ノ御調べト、鑛業稅ノ數ト、即チ對照シマスレバ、五十七万六千六百三十二圓四十一錢アルベキモノガ、差引四万二千六百三十四圓、脱稅ノアルコトニナリマスガ……

○政府委員田中隆三君 ソレハ何年度デゴザイマス

○藤金作君 三十六年度

○政府委員田中隆三君 ソレハ鑛區ヲ取消サレルヤウナ人ガゴザイマスノデ、國庫ノ缺損ニ屬スルコトガゴザイマス、滞納シテドウシテモ資力ガナクテ、納稅ノ出来ナイ人ガアリマス、三月ノ鑛區數ト實際ノ收入額トハ、キツチリ合ヒマセヌ

○金子元三郎君 全國ノ鑛產高ノ表デ見マスト、チョット見マシタコロデハ、「タンクステン」ト云フ産額ガナイヤウデアリマスガ、實際ナイノデアリマスカ

○政府委員田中隆三君 御答ハ致マスガ、「タンクステン」ハ是迄鑛業條例デ取扱ッテ居リマセヌノデゴザイマス、今度此法案デ「タンクステン」ヲ入レヤウト云フコトニナッテデゴザイマス、是ハ先年貴族院ニ案ヲ提出致シマシタキニ、貴族院ノ委員會デ多數ノ御註文デ、入レルコトニハ政府ハ異議ハナイト云フ、御答ヲ致シマシタノデ、此度ノ法案ニ入レマシタノデアリマス、是カラ所謂鑛業條例ノ取扱ヲ受ケヤウト云フ譯ニナリマス

○金子元三郎君 舊條例デ、今ノ條例ニハ「タンクステン」ガ無イカラ、唯今ノ御話ノ通デアリマセウガ、ソレデハ此今迄條例ニ基イテ、採出ヲシテ居ッタモノデナイカラ、御分リガナイコトニナルノデゴザイマスカ

○政府委員田中隆三君 其産額ヤ何カノ詳細ハ、先刻申上ケマシタヤウナコトデ、分ッテ居リマセヌノデ、併ナガラ「タンクステン」ノ產地等ニハ、技師ヲ派遣致シマシテ、十分取調モ致シマシタ、ソレカラ又現ニソレヲ採掘シテ居ル者ハ、唯今盛ニト申上ゲル程デハナイカモ知レマセヌガ、ソレノ外國ニ輸出シツ、アルノデゴザイマス、ダカラ此「タンクステン」ト云フ鑛物ノ、日本ニ存在シテ居ルコト、竝ニ其鑛業ノ狀態ハ、ヤハリ鑛業條例ヲ以テ獎勵ヲスル取締ヲスル必要アリト、政府ハ認メマシタ

○金子元三郎君 ソレナラ此「タンクステン」ノ存在シテ居ル處等ハ、既ニ御調べ濟デアリマシタナラバ、後ノ調査表ヲ御作リニナル時分ニ、序ニ御加ヘテ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ又モウ一ツハ是ハ別ニナルカモ知レマセヌガ、後ノ參考ノタメニ問フテ置キマス、ソウスルトソレヲ採鑛スル所ハ、今ドウ云フ手續ニシテヤッテ居リマスカ

○政府委員田中隆三君 此「タンクステン」ガ始メテ發見セラレマシタノハ、甲州ノ御料地内デゴザイマシテ、ソレヲ一方ハ鑛業條例ノ鑛物デゴザイマセヌカラ、普通ノ土石ニ準シテ、御料局カラ許可ヲ得テ之ヲ採ラントスル、夫カラ他ノ一方デハ「タンクステン」ト一緒ニ、鑛業條例ノ鑛物ガ、ヤハリクッ付イテ居ルノデス、殊ニ目立ッテ見エマスノハ、硫化鐵鑛ノ如キモノガクッ付イテ居ル、或ハ銅鑛ノクッ付イテ居ルノモアル、故ニ銅鑛硫化鐵鑛ト致シテ、鑛山ノ出願ヲ致シマシタ、其鑛山ノ出願ト「タンクステン」ノ出願トデ、頗ル紛雜ヲ惹起シマシテ、政府デモ取扱上困ッテ居リマシタ内ニ、其御料局カラ許可ヲ得タ人ト、鑛山ヲ出願シタ人ト、雙方聯合シマシテ、和解ガ整ヒマシテ、サウシテ其場所ハ鑛山ノ許可地ニナッテ居ルノデゴザイマス、サウシテ其「タンクステン」ヲ採掘スルコトニ付イテハ、御料局ノ許可ヲ得テ居ルノデゴザイマス、實況ハ其通デゴザイマス

○金子元三郎君 唯今ノ御話デ、甲州ノ御料地ノ中デ「タンクステン」ガ發見サレテア

ルト言ヒマスガ、此礦物ハ今礦業條例ノ支配ヲ受ケルモノデナイカラ、マダ礦業條例ニ基
イテ、願ハ出テ居ラスコトデゴザイマセウカ、就イテハ其「タングステン」ナルモノハ、甲州ノミ
デアリマスカ、他ノ方デモ、尙其礦物ノ存在シテ居ルト云フコトハ、政府ノ方デ御調ガゴ
ザイマスカ

○政府委員田中隆三君 御答ヲ致シマスガ、是マデ或地方カラ「タングステン」が出タ
ト云フ、學術上ノ日本のニ持テ來タコトハアルサウデゴザイマス、併ナガラ立派ナ礦脈ヲ
ナシテ、其處ヲ一ツノ礦產地トシテ認ムルヤウナモノハ、マダ當局ニ於テハ承知致シマセヌ
ノデゴザイマス、唯今申上ケマシタ甲州地方ノ部分ノ外ハ、今日ニ於テ採掘シテ居ル
モノアルト云フ事實ハ、承知致シマセヌ

○委員長堀田連太郎君 諸君ニ御諮リヲ致シマスガ、御質問モ大分進ミマシテ、其
他ニゴザイマセネバ、是デ逐條審議ニ移ル順序トナッテ參リマスガ、私カラ一ツ政府委員
ニ注意ヲシ、且ツ説明ヲ求メテ置キタイコトガゴザイマス、是ハ議事ノ順序上一ツ必要ナ
事ガ關ケテ居リハシマスマイカ、ソレハ此度政府カラ提出シマシタ礦業法案ハ、御承知ノ
如ク十六議會ヲ貴族院ノ決定ヲ經テ、衆議院ハ廻リマシテ、衆議院デモ、此特別委員
會約三分ノ一ホド、逐條審議ヲ經タシマス、ソレデ御シマイニナッテ居リマス、ソレデ對
照シマスレバ、無論分リマスケレドモ、便利ノタメニ政府委員カラ十六議會ニ提出シタ
法案ト、今回提出シタ法案トノ違ヒハ、ドウ云フ點デアルカ、又其違ヒヲ生ゼバナラナ
カッタ理由モ、ソレニ附帶シテ聽イテ置イタ方ガ、逐條審議ニ移ッテ御討議ノアリマス場
合ニ、大變便利デラウト思フ、政府委員ノ説明ヲ請フテ置キマス

○政府委員田中隆三君 唯今委員長カラ御尋ネノコトニ付イテ、御答ヲ致シマスガ、
チヨイ／＼此ノ細カイ字句ノ修正等ノコトモゴザイマスルケレドモ、御質問ノ趣旨ハソコ
デナカラウト思ヒマスガ、實質ニ於テ違ヒマシタ重モナル箇條ヲ、一二申上ゲルコトニ致
シマセウト思ヒマス、先年ノ案ト違ヒマシタコトノ一ツハ、第二條デゴザイマス、第二條ニ
「未タ採掘セサル礦物ハ國ノ所有トス」其箇條ガ「礦物」ノ次ニ「廢礦ヲ含ム」ト云フ括
弧ガ這入ッテ居リマス、其事柄ガ違ッテ居リマス、其事ハ一應悉ク説明ヲ申上ゲマス
ガ、此礦山ニ御從事ノ方ハ、無論御承知デゴザイマセウカ、礦山ノ中ニ廢礦ト云フモノ
ガゴザイマス、昔ノ人ガ掘ッテ棄テ、アルヤウナモノデ、昔ノ技術デハ收支償ハナイデ棄テ、
アツタモノヲ、今ノ技術ハ進歩シテ居リマスカラ、廢物ヲ取ッテ礦物ヲ精鍊スルノデ、此廢礦
ノ沿革ヲ申シマス、甚タ曖昧ニナッテ居リマシタ、礦業條例ノ前ニ、日本礦法ト云フ名
ノ法律ガゴザイマシテ、其日本礦法ニハ試掘ト借區ニ分チテ、何トモ説明ハゴザイマセヌ
ケレドモ、借區ト云フ中ニハ、勿論廢礦ヲ含メテ居ッテ、居ッタト云フモノハ、間接ニ分カ
ル、ソレハ稅ノ方ノ規定ニ依ッテ、礦業稅ヲ課スルノデ、廢礦ヲ借區スルモノハ、此稅額
ノ半分トストアル、私ノ規定ノ根源カラ遡ッテ、所謂礦山ノ權利ノ中ニハ、廢礦ノ借區
モアツタト云フ意味モ顯ハレテ居ル、現ニソレヲ廢礦借區ト稱シテ、特許證ニ殊更ニシ
シラ付ケテ居ッテ、所ガ其日本礦法ヲ改メテ、礦業條例ニナッタトキニ、廢礦ノコトハ何ト
モ書イテゴザイマセヌ、稅ナドモ無廢礦ハ半分タカ、何トカ云フコトハゴザイマセヌ、夫故
ニ廢礦ハ、最早礦業條例ノ範圍外ニ屬シタモノデアルト云フ解釋ヲ採ッテ人ガア
ル、併ナガラ事實ニ於テハ、ドウデアアルカト云フ問題ニナルト、或ハ之ヲ礦山トシテ、借區

特許ノ許可ヲ得テ居ル人モアル、或ハ又偶ニハ地主ガ是ヲ主張シタ例モアル、殊ニ所謂
此廢礦ニモ種類ガゴザイマスガ、舊坑内ニアル廢礦、且ハ礦ノ中ニ廢レ物ヲ詰メテアル廢
礦ノ如キハ、何處ノ礦山ニ於テモ、當然礦業人ノ物トシテ取ッテ居ル、ケレドモ、或廢礦
ニ付イテハ、或ハ礦業人ノ權利ノヤウナモノニナッテ、直接ニ地主ガ主張スルモノモアツテ、取
扱ガ區々ニナッテ居ル、併ナガラ廢礦ト云フモノ、現狀ヲ見マスト云フト、ヤハリ立派ナ
一ツノ礦物ト見テ差支ナイ、甚ダシキハ立派ナヤハリ森林ニナッテ居ル、立派ナ山ノ上ノ
土砂ヲ掻キ分ケテ掘ッテ見ルト、ソレハ廢礦デアルト云フコトガ分ルケレドモ、其成立ッテ
居リマス、存在シテ居ル現狀ニ於テハ、礦物ト云フモノト變リガナイト云フヤウナモノデ
ゴザイマシテ、是ヲヤハリ礦業人ノ權利ニ屬セシメテ、所謂礦業法ノ手續ニ依ッテ是ヲ監
督スルコトハ、適當ナリト認メタノデ、是迄曖昧ニナッテ居ッタコロノ事實ヲ、今度ハ此
法案ヲ以テ明瞭ニスル、斯ウ云フ趣意デ、廢礦ヲ含ムト云フ文字ヲ加ヘマシタ、殊ニ其
近頃金礦ニ付イテノ評判ガ擴マリマシテ、金礦ノ中ニ俗ニ「轉石」トカ、「轉ビ」トカ稱シ
マシテ、自然ニ缺ゲタモノガアル、礦脈カラ缺ケテ居ッタモノガアル、ソレナドモ礦業人ノ權
利ニ屬スルトカ、屬セヌトカ云フ議論ガアツテ、旁々此度未ダ採掘セサル礦物ト云フ中ニ
ハ廢礦ヲ含ム、況ンヤ「轉石」「轉石」ハ少シモ加ヘテナイカラ、礦業條例ノ、掘採セサル
礦物ノ範圍ニ屬スルモノデアルトイフコトヲ、茲ニ顯ハシタ次第デアリマス、從ッテ第三條
ト四條ト相待ッテ、將來所謂礦區内ニ於ケル廢礦ト云フモノハ、其礦區ノ許可ノ人ノ
權利ニ屬スルト云フコトガ、是デ明瞭ニナル譯デゴザイマス、之ハ違ヒノ第一デゴザイマス、
ソレカラ其次ニ第五條ノ外國人ノ礦業ニ關スルコトデゴザイマスガ、是ハ御決議ニハナッ
テ居ラナカッタト思ヒマスガ、質問其他意見ノ大勢ニ依ッテ見マスト、前回ノ所ニハ、此
箇條ハ削除シタ方ガ宜イト云フヤウナ意味デアッタヤウニ記憶シテ居リマスガ、此箇條ヲ
又此度ビノ法案ニ、其儘殘シテ置イタノハ、昨日大臣ノ御説明ノアツタ通デアリマシテ、
政府デハ諸般ノ法律トノ關係ヲ取調ベテ、外國人ニ權利ヲ與フルコトハ、一定シタ案ガ
出タ上デシタイト云フ意味デ、先以テ是ハ此儘ニ出デ居ル、併ナガラ大臣ノ御話ノ通りニ
帝國議會ニ於テ、此五條ノ削除ヲ必要トスルト云フ意見デアレバ、政府ハ別ニ反對ヲ
スルトイフ意味デナイト云フヤウナコトニ、御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ第六條ノ中ニ、
昨年ハ一項、二項、三項ト分レテ居リマシタ、ソレヲ一項ト三項トハ一緒ニシタ方ガ便
利デアルト云フノデ、三項ノ中ノ文字ヲ——文句ヲ一項ノ中ニ加ヘテ、一緒ニ致シマシ
タ、意味モ少シモ變ッテ居リマセヌノデゴザイマス、ソレカラ十條、十條ニ先年ノ案ハ陸海
軍所轄ノ城堡トイフ言葉ガゴザイマシテ、是ハ城堡トイフ文字ヲ削リマシテ、其代リニ要
害地帶トイフモノガ這入ッテ、尙要塞地帶ノ中ニ、一區域ト二區域ト三區域トノ區別
ヲ立テ、十條ノ一項ニ二項等ニ分ケマシタ、是ハ陸軍省ノ註文デ、斯ウ云フ風ニ直リマ
シタ、趣旨ニ於テハ實際ノ法文ノ適用ニ於テハ、變リガナイトイウコトデゴザイマス、左様
御承知ヲ願ヒマス、第十四條、第十四條ニ本法ハ此國礦業國家ノ經營シテ居ル礦
業ニモ適用スルトイフ原則ヲ立テマシテ、前ノ箇條ト第六條ト、末則ノ八條トハ適用シ
ナイコトニナッテ居ル、昨年衆議院ノ方ハ貴族院カラ廻リマシタ案ニハ、六章トイフノハゴ
ザイマセヌ、是ハ貴族院デ六章ヲ削リマシタノデアリマス、ソレハ詰リ國家ノ礦業ニモ課
ケルベキ稅ハ課ケテ、收支ヲ明カニスルト云フノ、貴族院ノ趣旨デアッタノデゴザイマス、ソ

レノ修正デコナラヘ廻ハリマシタケレドモ、政府ノ評議ニ於キマシテハ、國ノ事業ニ稅ヲ課ケテモ、右ノ手ヲ課シテ左ノ手ヲ取ルト云フコトデ、詰リ無駄ノ手續ニ屬スルノデアルシ、ソレカラ又國ノ事業ノ大部分ハ、課稅ヲスルト云フヤウナコトヲ居ラナイカラ、ヤハリ鑛業ニ付イテモ、課稅ヲスルト云フコトハ止メタ方ガ宜シ、ヤハリ課稅ヲシナイト云フ原案ガ宜シトシテ、ヤハリ元ニ溯ッテ、六章ト云フモノヲ加ヘタノデゴザイマス、ソレカラ十九條ニ、鑛業權及抵當權ノ設定、變更、移轉、消滅、並ニ處分ノ制限ト云フ言葉ガゴザイマス、是ハ差押、假差押及假處分ト云フヤウナ文字ガ、此前ノニ加ハデ居リマシタ、其數文字ヲ一括シテ、處分ノ制限ト云フ文字ニ改マシタノデゴザイマス、之ハ登記法等ニモ既ニ斯ウ云フ文字ニナッテ、法律ガ出デ居リマス、外ノ法律トノ關係上、斯ウ云フ風ニ改メナケレバナラヌ必要カラ起ッタノデゴザイマス、尙委シイコトハイヅレ追テ申上ゲル機會モアリマセウガ、趣旨ハ少シモ變テ居リマセヌノデゴザイマス、ソレカラズトオシマインノ方ニ參リマシテ、第六章鑛業稅——鑛業稅ノトコロノ八十一條ノ第二項ニ「金鑛銀鑛及鐵鑛ニ付イテハ、鑛產稅ヲ課セス」金鑛ト銀鑛ト云フモノヲ、鑛產稅ヲ課セザルモノ、中ニ加ヘマシタノガ、變テ居リマス、是ハ國家ノ貨幣制度ノ基礎ヲ確固ニスルタメニ、金銀鑛業ノ獎勵ヲ必要トスル意味ヲ以チマシテ、元鐵鑛タケテゴザイマシタモノヲ、併セテ金鑛銀鑛ヲ加ヘタト云フコトニナラノデゴザイマス、ソレカラヤハリ其箇條ニ「元試掘權者ニハ鑛區稅ヲ課セス」ト云フノガ、此前ノ案デゴザイマシタ、其箇條ヲ削リマシタノデ、其結果試掘權者ニモ鑛區稅ヲ課スルト云フコトニナリマシタ、其課スルト云フコトニ致シマシタ趣旨ノ大要ハ、昨日御答ヲ致シマシタ通デゴザイマス、尙其場所ニ至リマシテ、御尋ネノアリマシタ節ニ、何遍デモ政府ノ趣旨タケハ申上ゲルコトニ致シマス、ソレカラ八十三條、即チ唯今申上ゲマシタ稅ヲ、課スルト云フコトニナリマシタカラ、其課スル率ヲ、八十三條ニ於テ定メタ結果タケノ修正デゴザイマス、ソレカラ第八十九條デゴザイマス、是ハ重大ナル一ノ修正ト認メテ居リマスガ、八十九條ノ第一項ハ、北海道府縣及市町村等ハ、鑛業稅ニ對シテ、各其本稅百分ノ十五以內ノ附加稅ヲ課スルコトガ出來ル、其附加稅ノ外ハ、鑛業ニ直接關係ノアルトコロノ、鑛區物件等ヲ標準トシテ、課稅スルコトハ出來ナイト云フ、八十九條ノ大體ノ趣旨ハ、前議案ト變リマセヌガ此第二項ニ「前回ノ議案ニハ特ニ」ト云フ文字ガ這入ッテ居リマシタノデス、鑛業ニ對シ又ハ特ニ鑛夫、鑛產物、鑛區又ハ云々ニ對シテ課稅スルコトヲ得ズ「特ニ」ト云フ二字ガ這入ッテ居リマシタ、其「特ニ」ト云フ二字ガ消ヘタノデス、「特ニ」ト云フ二字ガ消ヘタ結果、斯ウ云フ譯ニナルノデス、今日マデノ實例ニ依リマス、例ヘバ鹿兒島縣鑛區ガ車稅ト云フモノヲ起ス、車稅ト云フ縣稅ヲ起ス、單ニ車稅ト申シマスレバ、獨リ鑛業人ノミナラズ、全國其鹿兒島縣內ノ外ノ人デモ皆課稅ヲシナケレバナラヌ、鹿兒島ノ例ニ申シマスト、車稅ニ水車稅ト云フモノヲ起ス、スルト全國 誰デモ其稅ヲ負擔シナケレバナラヌノデアルカラ、所謂特ニ鑛業人ノミニ課シタノデナイカラ、摺ハナイト云フ譯ニナル、昨年ノ法案ニ致シマス——ケレドモ事實カラ申シマスレバ、鹿兒島水車稅ヲ起シタト云ヘバ、千人ノ中ニ九百九十何人マデハ鑛業人デアル、鑛業人ガ皆水車ヲ有デ居ッテ、其中ニハ或ハ白米業者等モ、一ツ二ツハゴザイマセウケレドモ、殆ド數ニハナラナイ、名前ハ全體ニ關スル稅デアリマスケレドモ、其實ヤハリ鑛業人ノ負擔スルヤウナ譯ニナル、又秋田縣ノ

如キハ、鐵索稅——鐵索稅ト云ヘバ、誰デモ鐵索ヲ架ケタ者、又誰デモ軌道ヲ架ケタ者ハ課稅サレル譯ニナッテ、公平ノヤウニ思ヒマスケレドモ、鐵索ヲ以テ或ハ軌道ヲ以テ居ル者ハ、鑛業人ノ外ナイト云フヤウナ事實モアル、スルト前回ノ法案ノヤウニ「特ニ」ト云フ字ガアッデモ、鑛業人ヲ保護スルコト云フ趣旨ヲ貫クコトガ出來ナイ、ソレ故ニ今度ハ「特ニ」ト云フ字ヲ削ッテシマッテ、總テ百分ノ十五以內ノ附加稅ヲ許ス代リニハ、鑛夫トカ、鑛產物トカ、鑛區トカ、或ハ直接鑛業用ノ工作物、器具、機械等ヲ標準トシテ、一切課稅スルコトガ出來ナイト云フコトニナレバ、始メテ公平ニ目的ヲ達スルコトガ出來ル、斯ウ云フノデ「特ニ」ト云フ字ヲ削リマシタ、併ナガラ其結果トシテ唯今ハ弊害ノアル極端ノ例カラ申シマシタカラ、其通デモアラウガ、或ハサウデモナシニ、多數ノ今ノ水車稅デモ、鑛業人ト外ノ者ト澤山ノ水車ヲ有デ居ル場合ガアルカモ知レナイ、サウ云フ場合ニモ其普通ノ人ハ水車稅ヲ負擔シナケレバナラヌ、鑛業人デアルカラ、水車稅ヲ負擔シナクテモ宜シイト云フ鑛業人ト、外ノ人ト不公平ニナル傾キガナイト云フ論ガ、段々ゴザイマシタケレドモ、併ナガラ唯今モ申シマシタヤウニ、事實ニ於テ此稅ノ爲メニ直接鑛業用ノ物件ニ課稅スルタメニ、種々ノ弊害ガアリ、此弊害ヲ目シテ多少不公平ト云フコトハ、見ヤウニ依ッテハ、云ヒ得ルカモ知レナイケレドモ、其不公平ト云フ言葉ヲ換ヘテ、鑛業ヲ保護スル殊ニ此金銀鑛ノ如キハ、無稅ニシテ保護スルコト云フマデ、今度ノ條例デ鑛業保護ノ政策ヲ取ルト極メタ以上ハ、不公平ト云フ文字ハ惡ルイガ、多少鑛業人ヲ保護スルコト云フ意味ガアッデモ、差支ハナイノデアル云フ點カラシテ「特ニ」ト云フ言葉ヲ、茲デ削リマシタノデアリマス、ソレカラ罰則ニ至リマシテ、九十五條ハ前年罰金刑ノミデアッタノガ、今度ハ重禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處スト云フコトニナリマシタ、是ハ變ッテ居リマス、此趣旨ハ昨日申上ゲマシタノデゴザイマスカラ、其節御聽取ナクッタ方ハ、速記録デ御承知ヲ願ヒ、尙足ラザルトコロハ其折ニ御説明ヲ致シマスガ、昨日申上ゲタ中ニ、少々申上ゲ損ヒガゴザイマシタノデ、此二年以下ノ重禁錮ト云フノハ、丁度山林竊盜ト同ジ刑ニナッテ居リマス、山林ノ方ニ於テ山林竊盜ハ二年以下ノ重禁錮トナッテ居リマスノデ、ソレト準ジテ居リマス、ソレカラ尙罰則ノ中ニ他ノ保護等ノ鈞合ヲ取ッテ、少シ變ヘタトコロガゴザイマスケレドモ、ソレハ實質ニ關係ノナイコトデ、格別改メテ申上ル程ノ必要ハナイト思ヒマスカラ、ソレハ後ト申上ゲルコトニ致シマス

○金子元三郎君 私ハチヨット希望ヲ申上ゲテ置キマスガ、先刻委員長カラ質問モ終ッタヤウデアアルカラ、是カラ逐條審議ニ移ルト云フ御言葉ガアリマシタガ、私ハ前回ノ模様ハ今日ノ新聞デ諸所々散見シタ位ノコトデ能ク分リマセヌガ、或ハ速記録ヲ見マシタラ、私共ノ質問スベキ事柄モ、ソレニ依ッテ了解スルカモ知レマセヌ、ソレデ質問ヲ了ルカモ知レマセヌガ、ソレデモ尙分ラヌトコロガアレバ、質問ヲ致シタイト思ヒマスカラ、質問スル餘裕ヲ與ヘテ置イデ貰ヒタイコト、モウ一ツハ此次ニ會ヲ開カレル日ハ、先刻カラ政府委員ニ請求シテ置キマシタガ、調査書ガ廻リマシテ、其調査書ヲ見テ考ヘル餘裕ヲ與ヘテ後、開會アラント云フ希望致シマス、今日ノヤウニ茲ヘ出テ來テ、初メテ調査書ヲ見テ、イロ／＼質問スルト云フヤウナコトデハ、唯盲從スルカ、鵜呑ミニスルト云フコトナラバデスガ……

○政府委員田中隆二君 先刻御註文ノ調書ハ御急ギトアレバ、今日中ニモ各々御任

所へ向ケテ發送スルマデノ手續キハ出來ルノデスガ、昨日大臣カラ御話モゴザイマスヤウニ、實ハ本案ハ議會ノ眞先ニ豫算案ト共ニ提出ニナタト云フノハ、豫算ニモ關係ヲ有ッテ居ルカラノコトデアリマス、デ此議會ノ議事ノ軀裁ノ上カラ申シマシテモ、此案ガ後レルト云フコトハ、甚ダ困ル譯デ、政府ノ收入ハソレダケ減ルコトニナリマス、若モ減ルト云フ御意見デゴザイマスレバ、又政府デハ別ニ其填補ノ法案ヲ立デナケレバナラヌノデス、既ニ豫算ノ收入ハ、是ニ依ッテ決議ニナッテ居リマスカラ、御改メニナルコトハ差支モゴザイマスマイ、若モ御改メニナルト云フコトニナリマスレバ、政府トシテハ其填補ノ法案ヲ立デナケレバナラヌノデス、是ガ延ビマスレバ、政府ハ甚ダ困難ヲ致ス事情ガゴザイマスノデ、ソレカラ既ニ此委員會ニ於キマシテハ、何時デモ各條ニ移リマシテモ、十分ニ申上ゲル積リデゴザイマス、尙此法案ニ付イテハ、昨日申上マシタ通、既ニ多少ノ相違ハ致シマシタケレドモ、違ヒマスル點ハ二箇所トカ、二箇所トシテ、直ク現ハスコトノ出來ルヤウナ違ヒテ、其他法案ノ實質ニ付イテハ、既ニ帝國議會ニ十數回モ出デ居リマスノデ、鑛業ニ御關係ノ方ハ、十分法文トシテハ或ハ御覽ニナラヌカモ知リマセヌガ、實質ノ上ニ於テハ既ニ業ニ御承知ノコトデアル、殊ニ從來私共ガ直接ニ段々戴キマシタ反對ノ意見書等ニハ、政府ハ如何ニモ鑛業法ニ付イテ、當局者ノ考モ何モ聞カズ、甚ダ不親切デアルト云フトデスガ、全ク事實ノ違ッテ話デアリマシテ、既ニ明治二十五年ノ鑛業條例實施ト同時ニ、全國ノ鑛業諮問會ヲ開キ、其鑛業條例ニ付イテ、不服ノ箇所、又改正ヲ要スル點ニ付イテハ、各當業者ノ意見ヲ求メマシテ、又此鑛業條例ト云フモノヲ、愈々編ンデ、政府ガ提出スルニ付イテハ、全國ノ鑛業家ヲ呼ンデ、ヤハリ諮問會ト云フモノヲ開キマシテ、其意見ヲ徴シテ、其決議等ノ大部分ハ、鑛業法案ノ中ニ現ハレ居リマス、餘程注意ニ注意ヲ加ヘテ、此他ノ案ニハ是程長ク世間ノ問題トナリ、是程長ク世間ノ詮議ヲ經タモノハナイト思ヒマス、現ニ鑛業法案ニ關スルモノハ、世間ニ販賣シテ居ル、鑛業ニ關スル書類ノ中ニ附テ居ルト云フ有様デアリマス、鑛業ニ關スル法規類集ヲ御覽ニナリマス、議會ニ提出シタ鑛業法案ハ、數年前カラ世間ニ販賣セラレテ居ルモノニ附イテ居ル、其位ノコトデ、餘程御注意ニナッテ居ルコト、當局者ニ於テハ信シテ居ルノデスカラ、御忙ガシイ事情ヤ、竝ニ十分御審査下サルト云フ點ニ付イテハ、當局者ニ於テハ、感謝ニ堪エマセヌガ、ソレト同時ニ出來得ル限りニ日ヲ縮メテ、サウシテ御審議ニナルヤウニ、只管希望致スノデアリマス

○委員長堀田連太郎君 ソレテハ是デ散會致シマス

午後零時二十九分散會

明治三十七年十二月二十日印刷

明治三十七年十二月二十一日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局